

147 イスカ

(スズメ目)

Loxia curvirostra

兵庫県ランク:要調査

繁殖個体群:無 越冬個体群:調 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道、本州では留鳥または冬鳥、四国、九州では冬鳥。国内での繁殖例は少ない。兵庫県では主に11-翌5月に記録がある。山地の針葉樹林や針広混交林に生息する。マツ林を好み、特殊な形状の嘴でマツカサの中の種子を取り出して食べる。



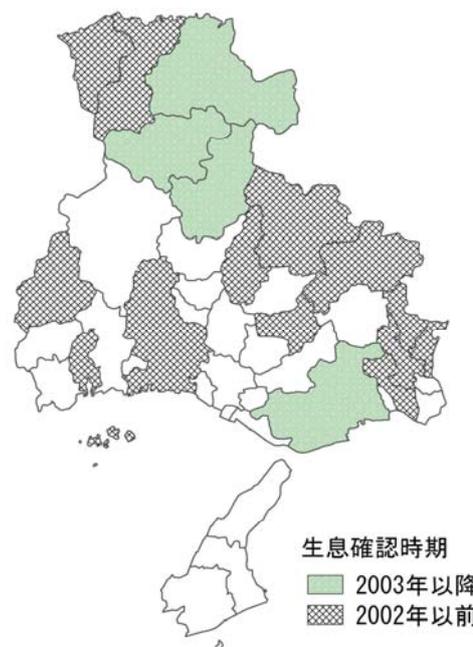
写真提供:池口和三

国内分布

北海道、南千島、本州、粟島、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、琉球諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、(姫路市)、(西宮市)、(相生市)、豊岡市、(宝塚市)、(川西市)、(篠山市)、養父市、(丹波市)、朝来市、(加東市)、(猪名川町)、(多可町)、(佐用町)、(香美町)、(新温泉町)



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。
渡来は極めて不規則である。かつての多い年には、ほぼ県内全域の山林で観察されることもあったが、近年は局地的となっている。近年のマツ林の衰退により、分布地が限られるようになったと考えられる。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、健全なアカマツ林の保全と育成が重要。



写真提供:池口和三